

埼玉県議会議長賞

川越市立高階西中学校 三年 内田 梨瑛

収入印紙とは…

収入印紙とは、印紙税に代表される租税、手数料その他の収納金の徴収のため、国（政府）が発行する証書です。

私が何故収入印紙を調べてみようと思ったのかと言うと、中学一年生の時に行った職業体験で見せて頂いた収入印紙がとても綺麗だった思い出があるからです。私が職業体験に行った場所は郵便局で、所長さんが、とても高い金額の桜の絵柄で透かしが入った普段あまり目にすることが無い物を見せて下さいました。私はその時まで印紙には全く興味がありませんでしたが、どの様な時に使うのか調べてみたくなりました。

私たち国民は、契約書や領収書などの一定の文書を書面で作成すると、「印紙税」と呼ばれる税金が発生し、収入印紙を購入・貼付して納税する義務を負います。印紙税は、文書に記載された契約等の内容と金額によって収入印紙を貼付して納付すべき税額が異なります。国税庁の「印紙税の手引き」にある一覧表を覗いてみると、目についたのが、五十億を超えるものには六十万円の印紙が必要だと言うことです。おそらく私はその様な印紙を今後目にすることは無いのではないかと思います。郵便局で見せて頂いた一万円か二万円の桜の花の印紙でもとても美しかったのに、六十万円の印紙とは、いったいどの様なつくりになっているのか見てみたくなりました。多分、大人になって、大きな契約に携わることになった人達は、その大きな契約を成功させることが忙しくて、印紙の美しさを見る余裕は無いのではないかと思います。大きな金額の印紙程、偽造されない様、透かしなどの技術も素晴らしく、人の心を和ます美しさがあると思います。ただ事務的な印刷では無く、この様な小さな部分にも手を抜かず美しい物を作り続けている日本は美しい国だと思います。収入印紙を契約書に貼る要領は切手と同じで、タイトル部分の左右どちらかの余白に貼り、文書の作成者が自分で消印を行います。印影又は署名等で「消印」することで印紙税を納付することが、法令によって定められているためです。これは、印紙を再利用されない為であり、収入印紙を貼り忘れて、消印を忘れたときのペナルティとして過怠税の納付義務が発生します。納付すべきだった三倍の金額（納付しなかった印紙税の金額、プラス二倍に相当する金額との合計額）が徴収されることとなります。何事もきまりを守り、真面目に生きていく事が大切だと思いました。

最近、電子契約では印紙税は課税されないため、印紙にまつわるコストの一切を削減できるとあります。面倒な事をはぶくと、上手くいく部分もあると思いますが、美しい印紙が使われなくなるのは残念に思います。

技術が進歩し、世の中全体が忙しくなっていますが、大切な物は何かを考える時間は、

自分の心の中に残しておきたいと思いました。